

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
プライマリヘルスケア技術特論	1	後期	2	講義 30時間
担当教員	長江弘子、栗栖千幸、松本幸枝、岡田唯男、岩間秀幸、鈴木崇浩、北浦幸一、鈴木早苗、佐々木真弓、吉野有美子			
授業概要	プライマリケア看護におけるあらゆる発達段階にある人々を対象とした典型的にみられる疾病(common disease)およびその症状についてそのメカニズムを踏まえ、問診、視診触診等を通して、臨床所見と主訴から臨床推論、鑑別診断、臨床検査、臨床判断の手法を活用し、症状に関する包括的アセスメントや症状マネジメントの方略(薬理・非薬理的療法を含む)について学修する。また疾病治療のための薬物・非薬物療法に関する知識や既習の包括的アセスメント技法を活用し疾病予防から疾病管理までの方略を学修する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プライマリケアとは何か、臨床推論、トリアージ、家族ケアなど主要な概念を説明することができる。</li> <li>2. 地域のプライマリケア外来でよくみられる疾病(common disease)の症状の臨床判断、検査、治療(薬理・非薬理的療法を含む)について説明できる。</li> <li>3. 地域のプライマリケア外来における急性疾患への初期対応、ならびに比較的軽い症状や慢性疾患を持つ様々な訴えに対して看護学の視点から包括的アセスメントを行い、症状マネジメントの方略について事例を用いて説明できる。</li> <li>4. 地域特性、文化的特徴を踏まえプライマリケア外来・クリニックにおける本人とその家族の治療や生活管理に関する意思表示支援(ACP)の看護実践の評価方法を説明できる。</li> </ol>			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	プライマリケアの基本	岡田	
	2	患者と家族のライフステージに応じたヘルスプロモーションと患者・家族教育と行動変容	鈴木	
	3	疾病予防と疾病管理：臨床推論、トリアージ	松本	
	4	生活習慣病・疾病予防	岡田	
	5	生活習慣病・慢性疾患の管理	岡田	
	6	コモン・ディゼーズ、コモン・シンプトムへの対応認知症ケア、メンタルヘルス	岩間	
	7	地域連携とチーム医療及び組織マネジメント	岩間	
	8	画像診断：放射線診断 CT/MRI(頭部・胸部・腹部・関節疾患など)の理論と実際：典型的な症例を通して	鈴木	
	9	画像診断：超音波診断(腹部)の理論と実際：典型的な症例を通して	北浦	
	10-11	生活を基盤とした在宅で療養する人々へのケアマネジメント：急性症状の初期対応に関する事例をもとに診療所と連携した在宅療養支援と訪問看護師の役割と必要な能力について学ぶ	栗栖	
	12-13	生活を基盤とした在宅で療養する人々へのケアマネジメント：慢性疾患の病状の軌跡と生活管理を基盤にしたその人と家族の意向に即した最善の治療とケアに関する継続看護マネジメントを学ぶ	佐々木・長江	
	14-15	生活と医療を統合するエンドオブライフケアのプロセスにおける意思表示支援の理論的基盤を踏まえ、入退院支援における病状の軌跡に沿ったケアに関する今後の課題と研究課題を検討する。	吉野・長江	
教科書	日本プライマリケア連合学会監修：プライマリケア看護学			
参考書	コモンディゼーズ ブック、日常外来での鑑別と患者への説明のために、一般社団法人日本内科学会、専門部会編集、2016。新・総合診療医学、家庭医療学編、書林、2016。その他、必要に応じて紹介する。			
評価方法・基準	事前学習(20%)、プレゼンテーション(20%)、討論の内容(20%)、レポート(40%)で評価する。			
事前・事後学習	事前に示した資料を読んでおくこと。事後には講義で学んだ技術を実習で応用してみる。			